

# 成人看護学臨地実習Ⅱ

必修 開講年次：3年次前期 科目区分：実習 単 位：2単位 講義時間：90時間

■**科目のねらい**：成人期にある対象の特性と看護ケアの特殊性を理解し、看護に必要な基本的知識、技術、態度を養う。疾病・健康問題に応じた生活支援と保健医療チームについて学ぶ。

- 到達目標**：①成人期にある対象の特性と看護ケアの特殊性が説明できる。  
②健康障害が対象と家族に及ぼす影響について、多角的な視点で統合的にアセスメントできる。  
③対象となる患者の健康問題と強みを明らかにし、健康回復、適応促進、生活の再構築に必要な看護ケアの計画・実践・評価の一連の看護過程を展開することができる。  
④対象の療養生活を支援する保健・医療・看護・福祉チームの役割と機能について説明できる。  
⑤看護専門職を目指す学生として、自覚と責任を行動で示すことができる。

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎神島 滋子・小田 和美・川村 三希子・貝谷 敏子・菅原 美樹・工藤 京子・小坂 美智代・藤井 瑞恵・柏倉 大作

■**授業計画・内容**：

1. オリエンテーション  
実習の目的・目標・実習方法等について、オリエンテーションを行なう
2. 実習施設  
市立札幌病院
3. 実習方法  
詳細は実習要項を参照のこと

■**教科書**：なし

■**参考文献**：適宜担当教員などと相談すること

■**成績評価基準と方法**：実習内容・提出された実習記録物、実習態度、ケースカンファレンス、レポートから実習目標の達成度を総合的に評価します。

評価方法	到達目標					評価基準	評価割合 (%)
	目標①	目標②	目標③	目標④	目標⑤		
実習内容と記録	◎	◎	◎	◎	○	目標の達成度を4段階で評価する	80
実習態度					◎	実習に臨む姿勢、チームへの貢献度などで評価	10
ケースカンファレンス		○	○			簡潔明瞭な事例紹介と問題提示、カンファレンス資料の提示	5
レポート	○	○	○			テーマに沿った内容であること、読解可能な文章であること、誤字脱字は減点	5
出席						2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：すべての既習科目が該当します。特に看護過程論、成人看護学概論、成人看護援助論、成人看護技術論、形態機能学、疾病治療論など。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：成人看護学領域における集大成となる実習です。これまでの学修内容を整理し、自己課題を明確にして、主体的・計画的に実習に臨むことを期待します。